

## 48. ESCO事業

～ 既存建築物の効率的省エネ改修手法

事務所

飲食店

病院

学校

集会所

ホテル

物販店

工場

集合住宅

### 概要

#### しくみ

ESCO(Energy Service Company)事業は、既存建築物の設備などを、ESCO事業者が省エネルギー化改修し、省エネルギー化によって削減される光熱水費の節減分で、改修工事費用を償還し、残余を利益とする事業であり、通常、ESCO事業者が省エネルギー量を保証するパフォーマンス契約と呼ばれる特約が付される。

#### 契約形態

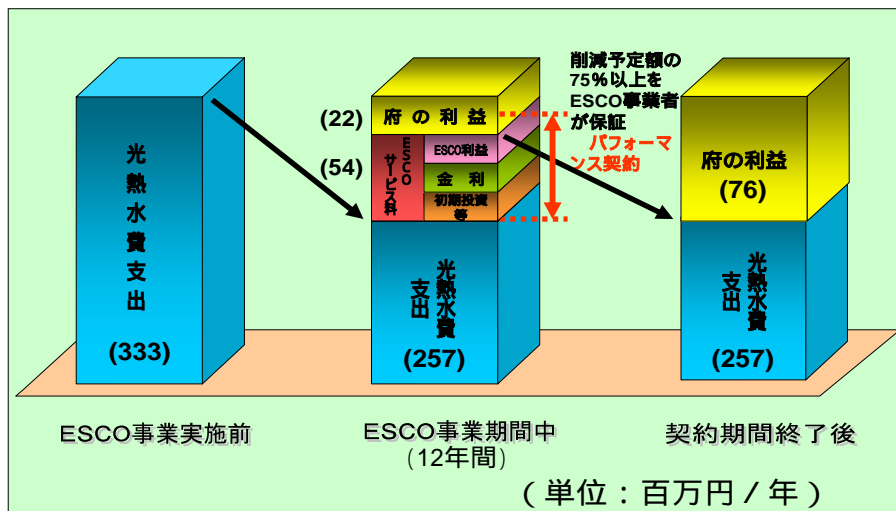
初期の改修工事費用をESCO事業者が負担し、ビルオーナーはまったく初期投資が必要ない「シェアード・セイビングス契約」と、通常の改修工事のように、ビルオーナーが改修工事費用を負担する「ギャランティード・セイビングス契約」と呼ばれる2種類の契約形態がある。

以下に、シェアード・セイビングス契約の場合の光熱水費の削減とESCO事業者への支払いのモデルを示す。

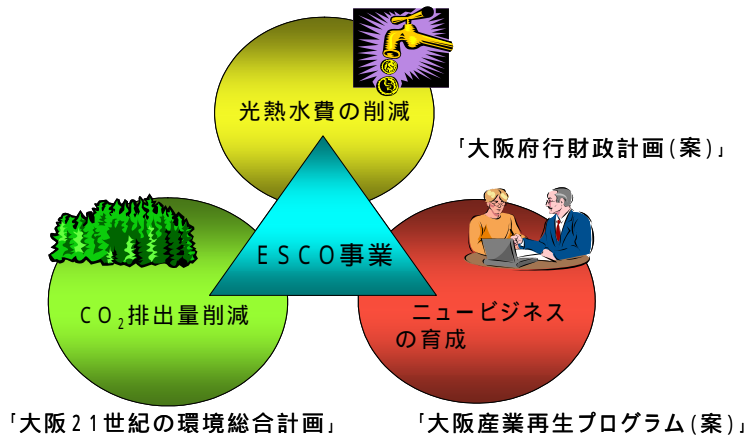
### 効果

## ESCO事業(シェアード・セイビングス契約)の事例

< 大阪府立母子保健総合医療センターESCO事業の場合 >

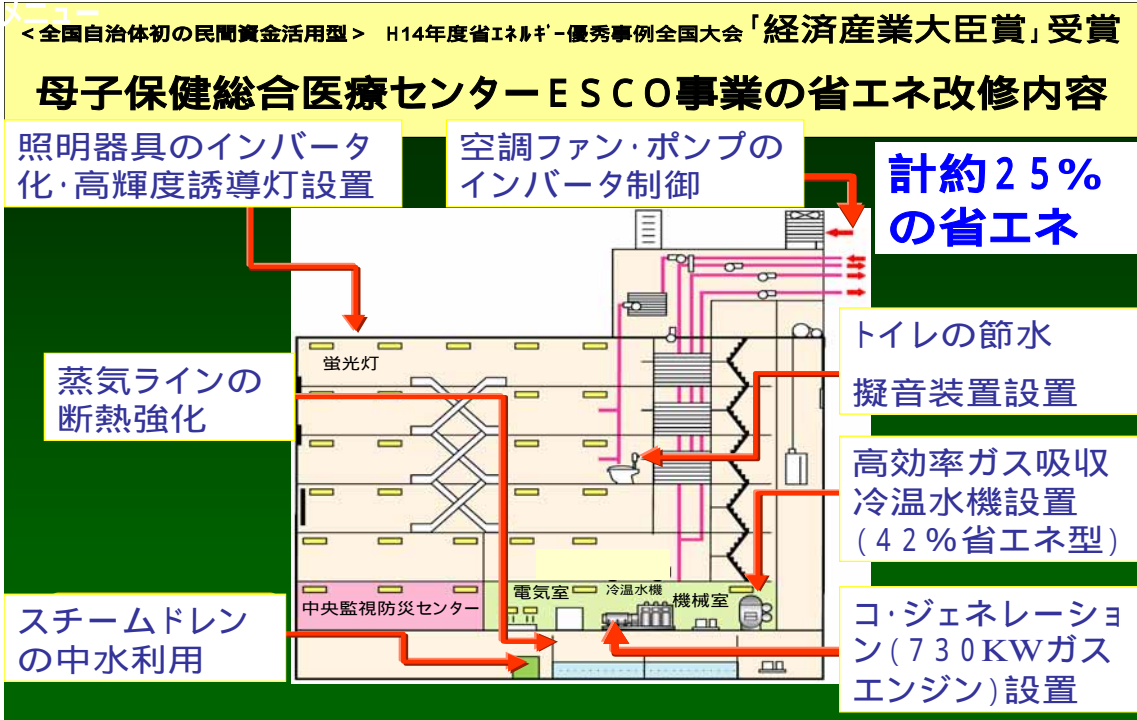


ESCO事業を実施することにより、光熱水費の節減と、省エネルギー化によるCO<sub>2</sub>排出量の削減が図れ、ESCOという新たなビジネスが創出されるという1石3鳥の効果がある。



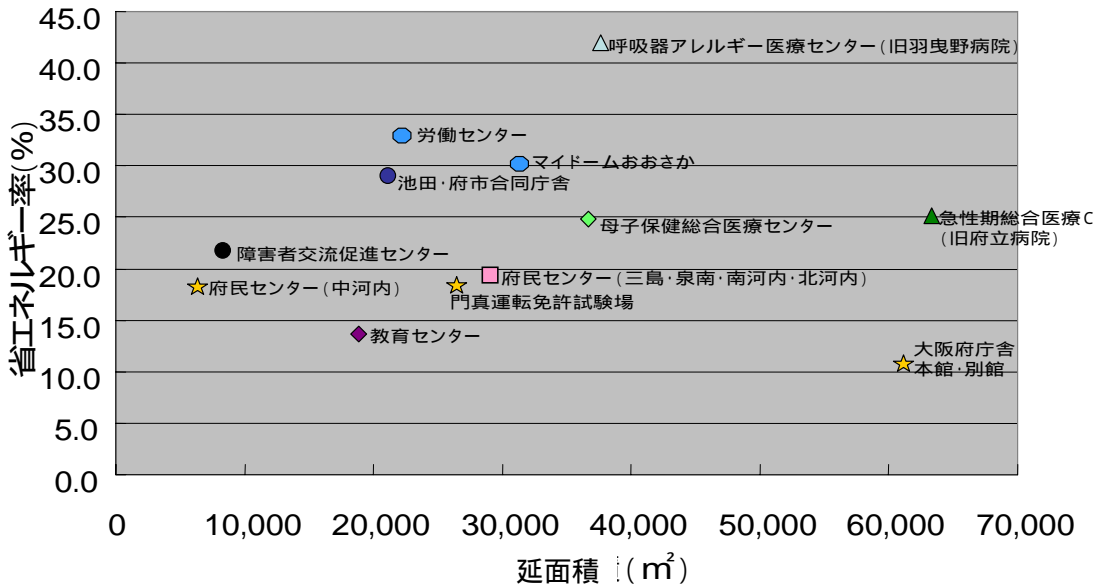
CASBEE 対応項目	生物環境	建物の熱負荷	効率的運用	大気汚染
	まちなみ環境	自然エネルギー	水資源保護	ヒートアイランド化
	地域性アメニティ	設備システム効率化	低環境負荷材料	地域インフラ負荷

**ESCO事業による主な省エネルギー改**



**事例**

大阪府のESCO事業の実施事例とその省エネルギー率



**出典・参考文献**

1) 大阪府ESCO事業導入マニュアル(2005年2月)